

## アジア輸入規制背景に



A black and white photograph showing a large truck partially submerged in a massive pile of crushed metal scrap at a recycling facility. The truck is oriented vertically, with its cab facing upwards. The surrounding area is filled with piles of crushed metal, creating a dark, industrial scene.

# 再生資源利用 義務化が必要

しやすい素材を用いること、リサイクルを進める方法だ。その際消費者もその製品を選ぶことが求められる。プラスチックは使いやすい素材であり、市場原理は強い。意識を高めるだけで二つごみを減らし続けることは難しい。再生資源を使うことを義務づけるなど、制度や仕組みづくりが求められる。

任せたことがあります。すべてを国内で処理できる体制にはほど遠い。

い」として、手を繋ぎ実創把握を進める。不適正な処理が起きた場合に備え、緊急避難策として、自治体が運営にかかる産廃処理場を活用できる体制作りを進めると、住民の同意が得られるが、住民の同意が得られるかなど、ハードルは高い。

## 再生資源利用 義務化が必要

民間の焼却施設としては国内最大級の「東京臨海リサイクルパワー」（東京都江東区）は受け入れ要望が例年の約3倍に。設備能力いっぱい稼働していく、規受け入れを制限していく。影山嘉宏社長は「この状況が続くと不法投棄が心配だ。行政には危機感を持つてほしい」と訴える。

国内のリサイクル業者は売却し、残りは費用を払って、処分場で焼却している。だが、近場の焼却施設も廃プラであふれかえっている。北海道や九州に運ぶには、人手不足で運転手の確保も大変だ。東港金属にはこれまで付き合いの無かった企業のごみも持ち込まれていい

000トンに上る。大型トレックで搬出しても、すぐに新たな廃プラが入ってくる。昨年末まで、毎月約200トンの廃アラを中国に輸出していた。規制が始まっていた。今年1月以降、2割程度を

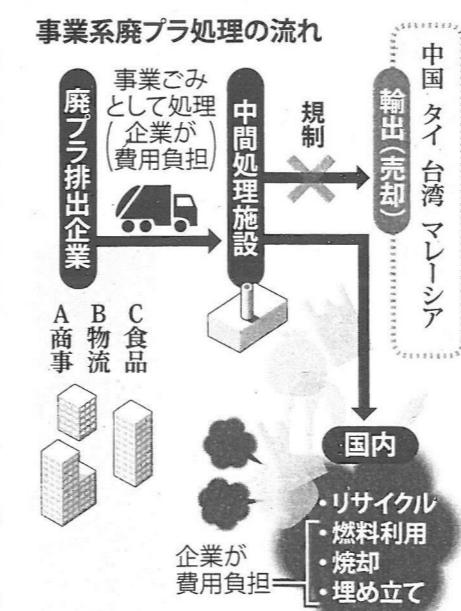
アジア各国で相次ぐ廃プラスチックの輸入規制。ごみは行き場を失い、不法投棄の恐れも出でている。海外に依存してきた日本の事業プラスチックは、処理方法の見直しやリサイクルの仕組み作りが急務だ。安倍晋三首相は15日、東南アジア諸国連合（ASEAN）関連の首脳会議で各国との協調を訴えたが、具体的な道筋は見えてこない。

理を負担する。そのため企業は中間処理業者に処理費を払う必要がある。これまでは、中国企業が中間処理業者からごみを買い取っていたため、その売り上げ分が相殺され、安くなっている。

入れが止まつたら怖いのだ  
が……」というもの、コ  
ストが不透明として値上げ  
受け入れに慎重だ。

値上げした。福田隆社長は「ごみ排出元の企業から取引を止められたこともあつたが、ほかに引き取り手もないので、結局は頼みに来ると話す。しかし、一般企業の処理費がかさめば、

# 焼却限界、コスト増



# 事業系対策置き去り

理を負担する。そのため企業は中間処理業者に処理費を払う必要がある。これまで、中国企業が中間処理業者からごみを買い取っていたため、その売り上げ分が相殺され、安くなっていた。それが、中国からの売り上げがなくなつたうえ、

入れが止まつたら怖いのだ  
が……」というものの、コ  
ストが不透明として値上げ  
受け入れに慎重だ。

値上げした。福田隆社長は「ごみ排出元の企業から吸引を止められたこともあったが、ほかに引き取り手もないでので、結局は頼みに来る」と話す。しかし、「一般企業の処理費がかさめば、消費者に転嫁される可能性もある。

# 廃プラ処理工場パンク

中間処理業者は輸送費や保管量増大による人件費など  
のコストが増えた。

答。排出企業に対し最大10%の値上げをしたケースがあつたものの、「値上げを依頼するが応じない企業が相当ある」との回答も5社から寄せられた。